

高等学校 芸術（音楽）

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I これから放送されるア～キの音楽や楽器の音を聴いて、次の（１）～（３）の問いに答えよ。

（１）ア～オの楽曲名と作曲者名を記せ。なお、解答用紙の「 」に、必要な事項を記入すること。

（２）①カの曲名を記せ。

②カで使用されている楽器の楽器名を五つ記せ。

（３）キの弦楽器に関連のある国または地域を下の語群**A**～**F**から一つ選び、解答用紙に記号で記せ。また、この楽器名を記せ。

（語群）	A インド	B アメリカ合衆国	C ペルー
	D オセアニア	E ヨーロッパ	F ギニア

2 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の楽譜を変イ長調に移調して、Clarinet (in B $\flat$) と Alto Saxophone (in E $\flat$) で演奏するための楽譜を、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



(2) 次の楽譜の最初の4小節について、箏で演奏するための縦譜を作成せよ。なお、調弦については平調子とし、第1弦を一点二音とする。



3 次の(1)～(15)の問いに答えよ。

(1) 坂本龍一に関する説明文の空欄に当てはまる語句の組み合わせについて、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

1978年に細野晴臣、高橋幸宏と共に「YMO ()」を結成した。またソロとしても活動し、 などの映画音楽の制作も行っていたが、2023年3月に病気のため死去した。

- 1 ア イエロー・マジック・オーケストラ
 イ 「戦場のピアニスト」や「ラスト・エンペラー」
- 2 ア イエロー・ミュージック・オーケストラ
 イ 「戦場のピアニスト」や「ラスト・サムライ」
- 3 ア イエロー・マジック・オーケストラ
 イ 「戦場のメリー・クリスマス」や「ラスト・サムライ」
- 4 ア イエロー・マジック・オーケストラ
 イ 「戦場のメリー・クリスマス」や「ラスト・エンペラー」
- 5 ア イエロー・ミュージック・オーケストラ
 イ 「戦場のメリー・クリスマス」や「ラスト・サムライ」

(2) 世界の特色ある音楽の説明の中で、正しいものの組み合わせについて、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ジンジュ 農楽を基盤にして発展した新しい芸能。韓国の伝統的な打楽器チャンゴ、プク、ケンガリ、チンを用いる。
- 2 クイーカ もともとは、アフリカの神々にまつわるさまざまな歌を歌うときに演奏される太鼓で、メロディ楽器には使われず、踊りの伴奏で演奏されることが多い楽器。
- 3 メリスマ 歌詞の一音節を装飾的に細かく上下に動かしながら引き伸ばして歌うこと。スペイン民謡で用いられる。
- 4 アールグール ダブル・リード管楽器の原点といえる楽器。アラビア語では、ムズマル、ズマル、ズマラなどと呼ばれる。
- 5 ツィンバロム 薄く裂いた竹のスティックで弦を叩くツィター属の撥弦楽器。ピアノの元祖となる楽器で、古代ペルシアで生まれ、西洋から中国に伝わった。

(3) 次の作品について、下線部の「grazioso」の意味と同じ意味の用語で、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：全音ピアノピース No.12 春の歌「無言歌集」より(Op.62- 6)

F.Mendelssohn

ZEN-ON MUSIC

1 ページ冒頭から 5 小節まで

1 dolce 2 energico 3 elegante 4 pastorale 5 con sentimento

(4) (3) の作曲家の作品のうち、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- | | | |
|---|------|----------------|
| 1 | ピアノ曲 | 「葬送行進曲」 |
| 2 | オペラ | 「ベアトリスとベネディクト」 |
| 3 | 管弦楽曲 | 序曲「フィンガルの洞窟」 |
| 4 | 交響曲 | 第3番「スコットランド」 |
| 5 | 歌曲 | 「歌の翼に」 |

(5) 次の用語説明のうち、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | サウンド・ホール | アコースティック・ギターや、セミ・アコースティック・ギターなどに空けられた、ボディの穴のこと。 |
| 2 | サウンド・トラック | 映画等の劇中に流すために制作された音楽のこと。 |
| 3 | サウンド・システム | 電子楽器に接続してサウンド・バリエーションを広げるために付加的に用いるディレイ、リバーブ、イコライザーなどの機器の総称のこと。 |
| 4 | サウンド・チェック | 音響システムを確認し、調整すること。また、ミキサーの調整の段階で楽器の音を個別に単体でもらい、各マイクおよびチャンネル別に調整すること。 |
| 5 | サウンド・チャート | シンセサイザー等で音色を作るときに、各部のセッティングをどのように設定するかを記録すること。またはその記録のメモランダムのこと。 |

(6) 次の映画作品とその作品の主題歌の組み合わせについて、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 『幌馬車』 | 「おお、スザンナ」 |
| 2 『オズの魔法使』 | 「虹の彼方に」 |
| 3 『スイング・ホテル』 | 「ホワイト・クリスマス」 |
| 4 『巴里のアメリカ人』 | 「ケ・セラ・セラ」 |
| 5 『ティファニーで朝食を』 | 「ムーン・リヴァー」 |

(7) 同じ作曲家の作品の組み合わせについて、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 「赤とんぼ」 | 「ちんちん千鳥」 |
| 2 「花」 | 「船頭さん」 |
| 3 「夏の思い出」 | 「いたずらすずめ」 |
| 4 「浜辺の歌」 | 「砂山」 |
| 5 「早春賦」 | 「かわいいかくれんぼ」 |

(8) 次のオペラの種類の説明について、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-------------|--|
| 1 オペラ・セリア | 主に18世紀のイタリア語のオペラ。カストラートとソプラノが主役になり、テーマは神話の神々や古代史の英雄の物語がある。 |
| 2 オペラ・コミック | 18世紀のフランスで誕生した。「コミック」は芝居を意味する言葉なので、悲劇のオペラ・コミックも存在する。 |
| 3 ジングシュピール | オペラ・コミックのドイツ語版の分野。18世紀の「魔笛」や19世紀の「魔弾の射手」などがある。 |
| 4 ヴェリズモ・オペラ | 19世紀のフランスで誕生した。マイヤーベアーの「悪魔のロベール」やサン＝サーンスの「サムソンとデリラ」などがある。 |
| 5 オペラ・ブッフア | 18世紀から20世紀初頭あたりまで、喜劇に特化したイタリア語のオペラ。基本的にカストラートは出演せず、ソプラノからバスまでさまざまな声が主役になる。 |

(9) ア、イをそれぞれ演奏したとき、合計した小節数として適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は



- 1 51
- 2 52
- 3 54
- 4 56
- 5 57

(10) B. スメタナについて、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 主要作品「売られた花嫁」は人気を博し成功を収めていたにもかかわらず、作品がワーグナー風で民族主義的要素が少ないと批判された。
- 2 プラハに新設される国民劇場の、仮劇場の管弦楽団の楽団員となった。この頃作曲も行っており、作風は民族色を強めていった。
- 3 同時代の作曲家と比べて和声や形式に先進性は見られなかったが、際立った特徴は、ボヘミアを題材としつつも、決して民謡をそのまま流用することなく綴る叙情的な旋律である。
- 4 プラハ郊外で宿屋と肉屋を営んでいた家庭で生まれ、子どもの頃より楽才を表し、とりわけピアニストとして優れていた。
- 5 初期にはワーグナーの影響を受けていたが、やがてドイツ、オーストリアの古典音楽を取り込みながら祖国の民族音楽の語法を用い、独自の世界を確立していった。

(11) 次の作品と作者の組み合わせについて、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-------------|---------|
| 1 「高砂」 | 世阿弥 |
| 2 「元禄風花見踊」 | 三世杵屋正治郎 |
| 3 「弁天娘女男白浪」 | 河竹默阿弥 |
| 4 「国性爺合戦」 | 近松門左衛門 |
| 5 「千鳥の曲」 | 八橋検校 |

(12) 発声の共鳴について、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 共鳴とは、音のエネルギー（空気の振動）を吸収したり、吐き出したりして外部に伝える現象のことである。
- 2 共鳴腔とは、声楽的には鼻腔、口腔、咽腔の空間部分をさす。
- 3 鼻腔は比較的知覚しやすく、美しい声の響きの中心となる。特に高音部の響きに深く関係している。
- 4 口腔による共鳴では、口先で音色を変化させることができ、響いた声が自分にもよく聴こえる。
- 5 頭声は、胸声よりも力強く、ある音の高さ以上になると音色が変わるのが特徴である。

(13) 尺八の説明として、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 基本は、一節（フレーズ）が終わるまで息を途中で切らず、同じ音が連続するときは舌（タンギング）を使う。
- 2 中継はウルシで摺合わせて作っている。ねじって着脱してはいけない。
- 3 標準は一尺八寸管で約54cmあり、八寸管と呼ばれている。
- 4 基準の高さはレ（D）である。
- 5 約1300年前、中国・唐より現在の尺八の原形となる六孔の楽器が伝わり、雅楽で用いられるようになったのがわが国での尺八の起源とされている。

(14) 文楽の用語について、適切でないものを 1～5 から一つ選べ。解答番号

- 1 見台 太夫が床で床本を置くために用いる台。
- 2 素浄瑠璃 人形なしで、太夫、三味線による義太夫節だけの演奏形式。
- 3 切場 文楽の演目の中で滑稽な場面をさす。
- 4 ツメ人形 家来、通行人など、その他大勢の役に使われる一人遣いの人形。
- 5 待ち合わせ 床の語りと舞台の人形との進行を調整するため、一時的に演奏を中断し、人形の動きを待って再び演奏を開始する演出法。

(15) 次の説明の空欄にあてはまる言葉として、適切なものを 1～5 から一つ選べ。

解答番号は

オクターブ間の音程を12等分の比で分割する という考え方は16世紀にすでに中国やヨーロッパで提案されていたが、20世紀になって電子楽器やMIDI規格の登場によって一気に普及した。

- 1 純正律 2 中全音律 3 ピタゴラス音律 4 ウェル・テンペラメント 5 平均律

- 4 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術」について、次の（1）～（2）の問いに答えよ。

（1）「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1音楽Ⅰ」について、次のA～Gの問いに答えよ。

A 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ

Ⅰ 目標

(1) () と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

- 1 音楽を形づくっている要素
- 2 音楽の固有性
- 3 曲想
- 4 音楽的な見方・考え方
- 5 音楽の特質

B 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ

Ⅰ 目標

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、(ア) とともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、(イ) 態度を養う。

- 1 ア 音楽における見方・考え方を働かせる
イ 他者との調和を意識する
- 2 ア 音楽における見方・考え方を働かせる
イ 音楽に関する知的財産権を尊重する
- 3 ア 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む
イ 音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく
- 4 ア 他者との調和を意識する
イ 音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく
- 5 ア 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む
イ 音楽に関する知的財産権を尊重する

C 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

2 内容

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 歌唱

歌唱に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 歌唱表現に関わる（ ）を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫すること。

- 1 基本的な表現方法
- 2 知識や技能
- 3 資質・能力
- 4 固有の技能
- 5 様々な表現方法

D 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

2 内容

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(2) 器楽

器楽に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

(ア) 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能

(イ) () 技能

(ウ) 表現形態の特徴を生かして演奏する技能

- 1 他者との調和を意識して演奏する
- 2 曲の文化的・歴史的背景にふさわしい演奏をする
- 3 自己のイメージをもちながら演奏する
- 4 曲想と音楽の構造にふさわしい演奏をする
- 5 他者の音楽表現を評価しながら演奏する

E 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1～5 から一つ選べ。

解答番号は 20

第2款 各科目 第I 音楽I

2 内容

〔共通事項〕

表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。

(I) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や（ ア ）を知覚し、それらの働きを感じながら、（ イ ）について考えること。

- 1 ア 音素材との関連
イ 知覚したことと感受したこととの関わり
- 2 ア 要素同士の関連
イ 自己と他者のイメージとの関わり
- 3 ア 音素材との関連
イ 自己と他者のイメージとの関わり
- 4 ア 要素同士の関連
イ 知覚したことと感受したこととの関わり
- 5 ア 構造と曲想
イ 自己と他者のイメージとの関わり

F 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1～5 から一つ選べ。

解答番号は 21

第2款 各科目 第I 音楽I

3 内容の取扱い

(I) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、中学校音楽科との関連を十分に考慮し、（ ）とともに、必要に応じて、〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図るものとする。

- 1 それぞれ特定の活動のみに偏らないようにする
- 2 生徒の特性や各学校の地域性を見極める
- 3 創造的な授業づくりを進める
- 4 発達段階に応じた指導が行われるよう工夫する
- 5 芸術科音楽の特質に応じた指導が行われるよう工夫する

G 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1～5 から一つ選べ。

解答番号は 22

第2款 各科目 第1 音楽I

3 内容の取扱い

(10) 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する。なお、適宜、(ア) を高めることができるよう指導を工夫する。

(11) 自己や他者の著作物及び(イ) の形成を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する知的財産権について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

- 1 ア 社会を取り巻く音環境に触れ、多様な音環境への関心
イ 著作権尊重の精神
- 2 ア 我が国や郷土の伝統音楽に触れ、多様な音環境への関心
イ 著作権尊重の精神
- 3 ア 社会を取り巻く音環境に触れ、多様な音環境への関心
イ 著作権を尊重する人格
- 4 ア 我が国や郷土の伝統音楽に触れ、多様な音環境への関心
イ それらの著作者の創造性を尊重する態度
- 5 ア 自然音や環境音などについても取り扱い、音環境への関心
イ それらの著作者の創造性を尊重する態度

(2) 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」について、次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は 23

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、() を図ること。

- 1 各科目における見方・考え方を働かせ、個性豊かに表現できるよう教材の工夫
- 2 各科目における見方・考え方を働かせ、各科目の特質に応じた学習の充実
- 3 知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに表現できるよう教材の工夫
- 4 各科目における見方・考え方を働かせ、創意工夫や表現上の効果を生かした学習
- 5 知識や技能を総合的に働かせながら、各科目の特質に応じた学習の充実

